

防災コラム

これまでの防災コラム
はこちらから▶



総務課危機管理室 ☎(52)3744

雪の降り始めにご用心

雪の降る季節となりました。県内でも、例年であれば早いところで11月下旬から12月上旬には初雪が見られます。冬に車を運転する人は、スタッドレスタイヤへの早めの交換、ゆっくり運転といった基本的なことと併せて、雪道運転で気を付けるべき事項を確認し、安全運転を心掛けましょう。

雪道での車の事故に遭わないためには

【こんなところでは路面の凍結に注意！】

◎交差点

車が発進や停止を繰り返すことにより、路面が非常に滑りやすくなることもある。

◎橋の上

橋の上の路面だけが凍結していることがある。スピードを落として渡る。

◎カーブ

手前で十分に減速してから進入し、抜けるまで速度を抑えて走行する。

◎トンネル等の出入口

日陰になることが多く、局所的に路面が凍結している場合がある。

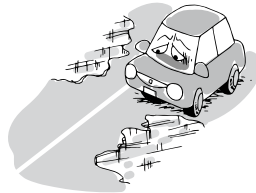
◎坂道

あらかじめ適切なギヤにシフトダウンし、アクセルを一定にする。急ブレーキやシフトダウンは尻振りやスピンを招く。下り坂はエンジンブレーキを活用する。また、すれ違う際は、上りの車が優先。

◎ブレーキング

急ブレーキをかけるとタイヤがロックしてグリップを失い止まれない。ブレーキはふだんより手前からソフトにじわっと踏んで止める。

※四輪駆動車やABSがついていても過信せず、カーブや交差点の手前では十分にスピードを落として走行する。



【視界の悪いときの運転のテクニック】

- ◎吹雪の中での運転はライト点灯、スピードダウン、車間距離を十分にとる。
- ◎大型車の雪煙による視界不良に注意！早めのワイパー作動と減速をする。
- ◎車に雪が付いたら安全なところで止まって落とす。
- ◎疲れたり、運転に危険を感じたりしたら、道の駅やパーキングエリア等で休憩をする。

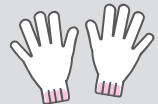


▲政府広報オンライン
ホームページ

なによりもまず、大雪や猛吹雪が予想される際は、運転を避けるようにしましょう。

【アクシデントに対応できる用具を必ず装備しておきましょう】

- タイヤチェーン、ジャッキ、牽引用ロープ、工具、ブースターケーブル、スノーヘルパー
- 防寒具、雨具、長靴、作業衣類、手袋、軍手、タオル、着替え、毛布、使い捨てカイロ、携帯トイレ
- スペアタイヤ(冬道用タイヤ)、滑り止め用砂、除雪用ブラシ、停止表示板、発煙筒
- スコップ、非常用の水、食料、旗(目立つ色の布)、懐中電灯(電池)、ラジオ 等



冬期間は歩行者の積雪や凍結を原因とする転倒災害も多く発生しています。横断歩道の白線の上や、車の出入りのある歩道(駐車場の出入口、ガソリンスタンド等)は滑りやすくなっています。気を付けて歩くのはもちろんですが、転んだ時のために、帽子や手袋をする等、身に着ける物の工夫も安全対策の一つです。また、屋根の上の雪や氷が落ちてくる場合がありますので、屋根にも目を配り歩きましょう。

防災行政無線

災害情報や緊急の注意喚起を行う際に放送を行います。聞き直したいときは、防災行政無線テレホンダイヤルへお電話ください。

☎ 0238(52)5101

※通話料がかかります。

※放送後24時間までの内容が確認可能です。

